

エゾシカ森林被害マップについて

趣 旨

- エゾシカによる森林被害対策を効果的に進めるためには、国有林と民有林が連携し一体的に取り組むことが重要。
- このため、国有林・民有林・試験研究機関のエゾシカ担当部署で構成する「エゾシカ森林被害対策連絡会」（以下、「連絡会」）を設置（2/13日設置）し、連携を強化。
- 連絡会の取組の一つとして、国有林と民有林それぞれの森林被害の状況を一元化し“見える化”した「エゾシカ森林被害マップ」を作成。（別紙）

被害マップの内容

- エゾシカ森林被害マップ（以下、被害マップ）は、国有林、民有林（道有林含む）で、平成24年度に実施したエゾシカによる森林被害調査結果のうち、国有林・民有林、双方の調査に共通している人工林の本数被害率について、GISを使用し該当する林小班上に図示。
※調査は森林整備事業や林況踏査時等を活用し、できる範囲で現地調査を実施した箇所のみのものであり、森林全体を調査したものではない。
- 被害マップは、被害の発生状況が一目でわかるよう3段階に色分けして表示しており、各地域における防除対策やエゾシカの捕獲対策のためのツールとして活用。
- **被害マップ件数**（調査：平成24年4月1日～平成25年3月31日）

区 分	国有林	民有林	合 計
マップ入力件数	1, 921	24, 596	26, 517
うち被害件数	502	2, 657	3, 159

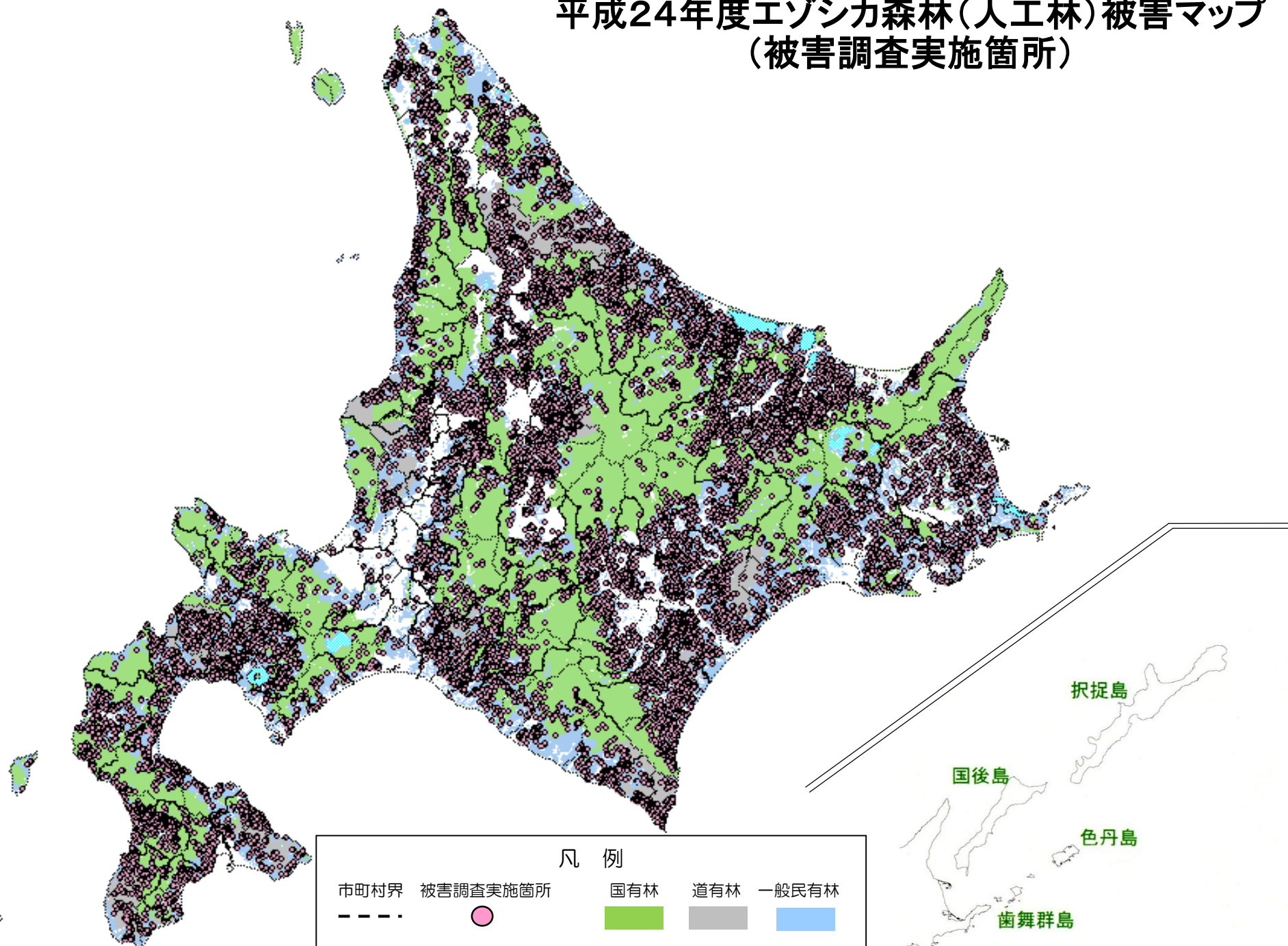
活用方法

- 森林被害発生状況の把握・確認
 - ・各地域別における森林被害発生状況の把握・確認 等
- 効果的な防除対策の実施
 - ・各地域の被害発生状況に応じた防除・予防対策（忌避剤散布、侵入防止柵、枝条巻き、保護チューブ等）の実施 等
- 効果的なエゾシカ捕獲の実施
 - ・被害が多い地域における捕獲（狩猟、許可捕獲）の実施
 - ・市町村が実施する一斉捕獲実施箇所の選定
 - ・捕獲を目的とした林道除雪箇所等の選定 等

今後について

被害マップは、連絡会において毎年10月に作成・更新し、防除対策の効果や被害状況の推移等について比較検討するとともに、被害の発生状況等に応じた効果的な被害対策を展開する参考資料として有効に活用。

平成24年度エゾシカ森林(人工林)被害マップ (被害調査実施箇所)



凡 例

市町村界	被害調査実施箇所	国有林	道有林	一般民有林
---	●	■	■	■

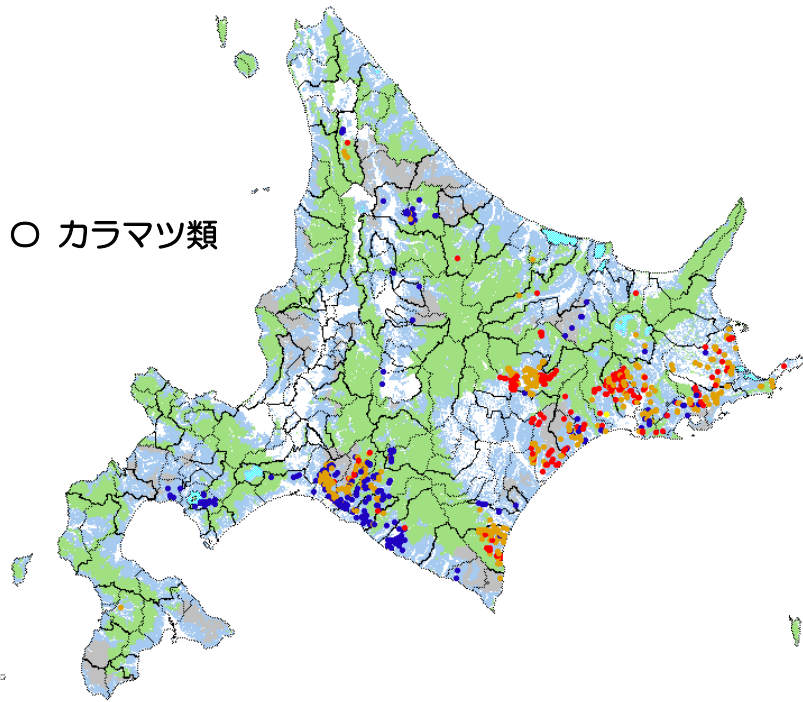


平成24年度エゾシカ森林（人工林）被害マップ 【1～5年生】

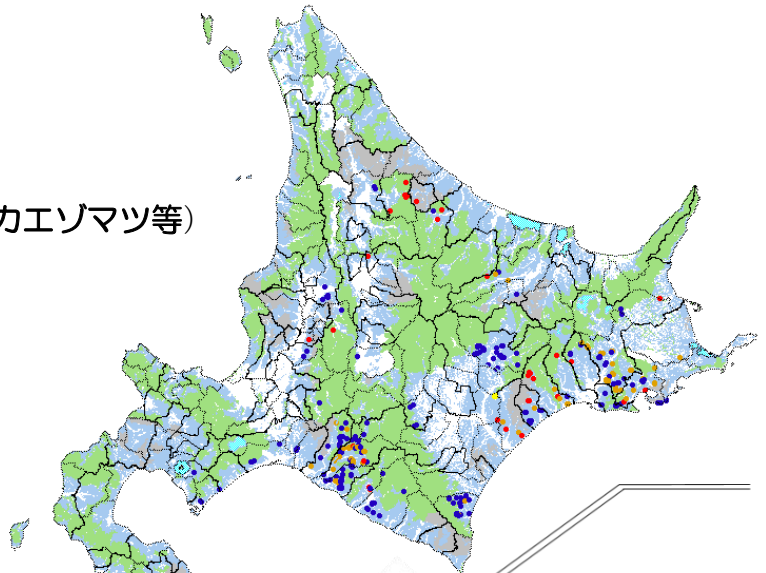
【被害の発生状況】

- 1～5年生の被害は主に枝葉の食害
- カラマツ類の被害が特に多い
- トドマツ、アカエゾマツ等の被害
 - ・被害が発生している範囲がカラマツ類より狭く、カラマツ類ほど被害を受けにくい
 - ・カラマツ類に激害が発生している地域ではトドマツ等にも被害が発生
- 被害が多い地域では、枝葉の食害を防除する忌避剤散布などの対策が必要

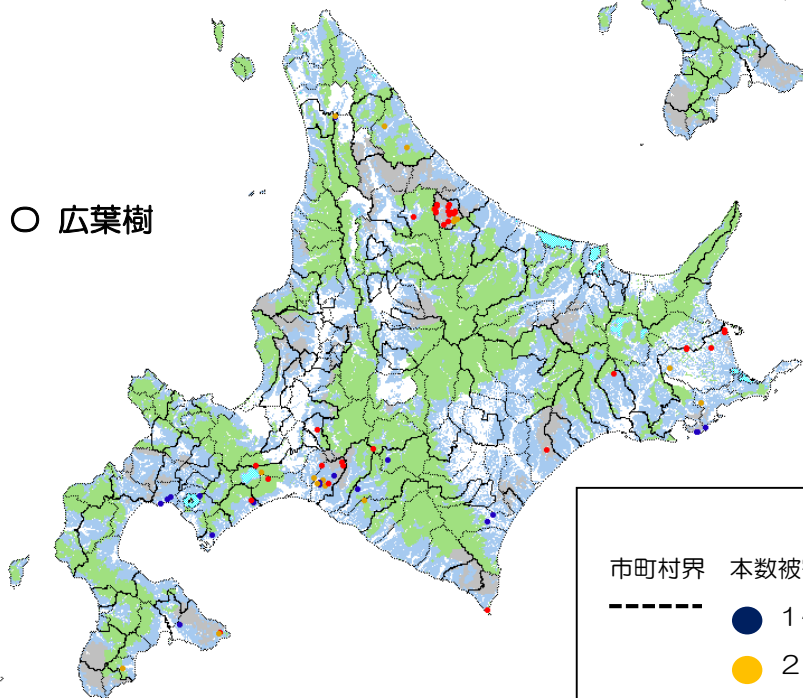
○ カラマツ類



○ 常緑針葉樹（トドマツ、アカエゾマツ等）



○ 広葉樹



凡例

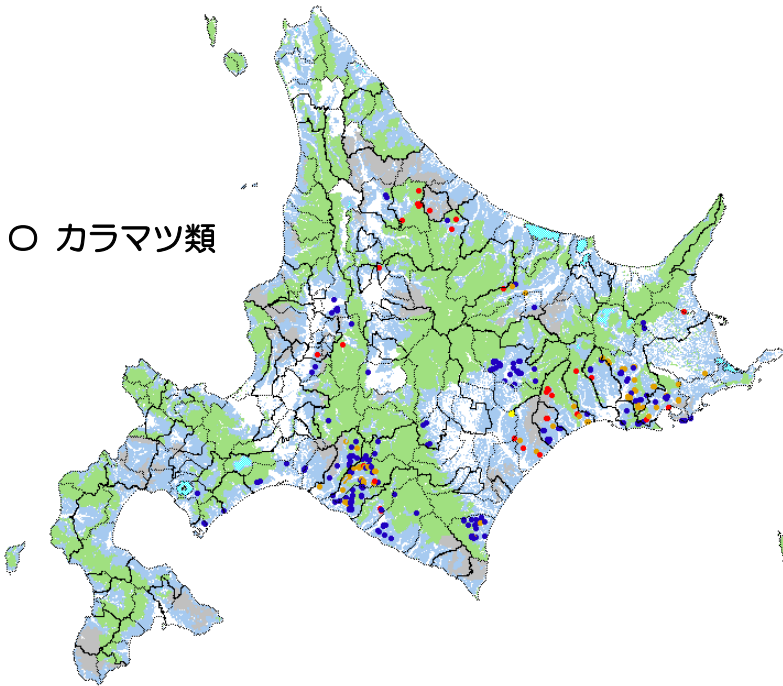
- | | | | | |
|-------|--------------|-----|-----|-------|
| 市町村界 | 本数被害率 | 国有林 | 道有林 | 一般民有林 |
| ----- | ● 1～19（微害） | ■ | ■ | ■ |
| | ● 20～49（中害） | | | |
| | ● 50～100（激害） | | | |

平成24年度エゾシカ森林（人工林）被害マップ 【6年生以上】

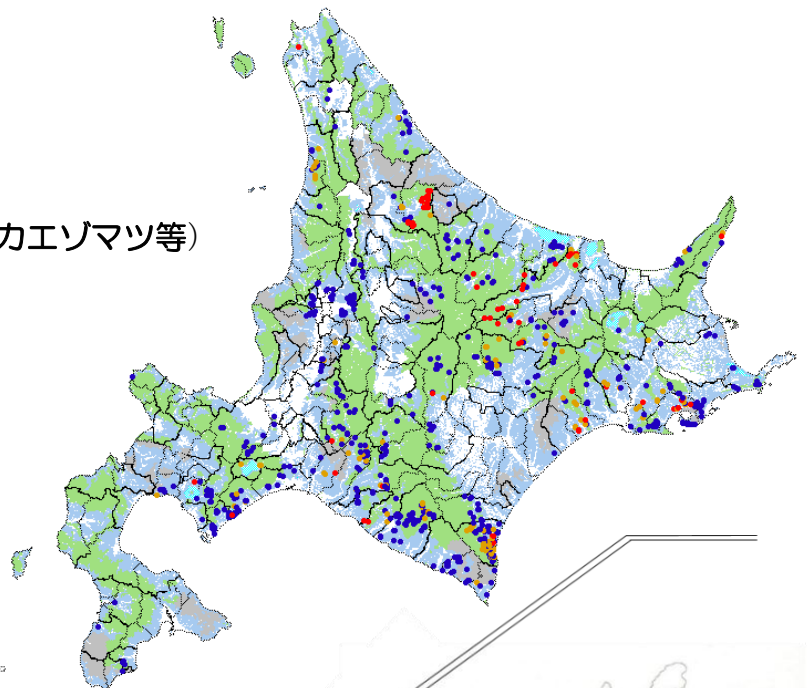
【被害の発生状況】

- 6年生以上の被害は主に角こすりや樹皮の食害
- カラマツ類よりトドマツ、アカエゾマツ等の被害が多い
- 被害が多い地域では、角こすりや樹皮食害を防除する枝条まきなどの対策が必要

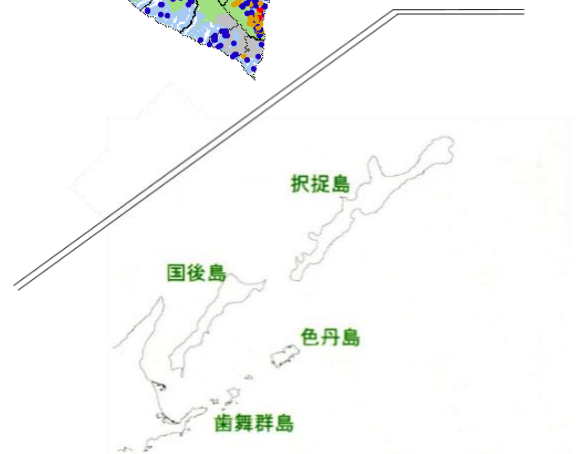
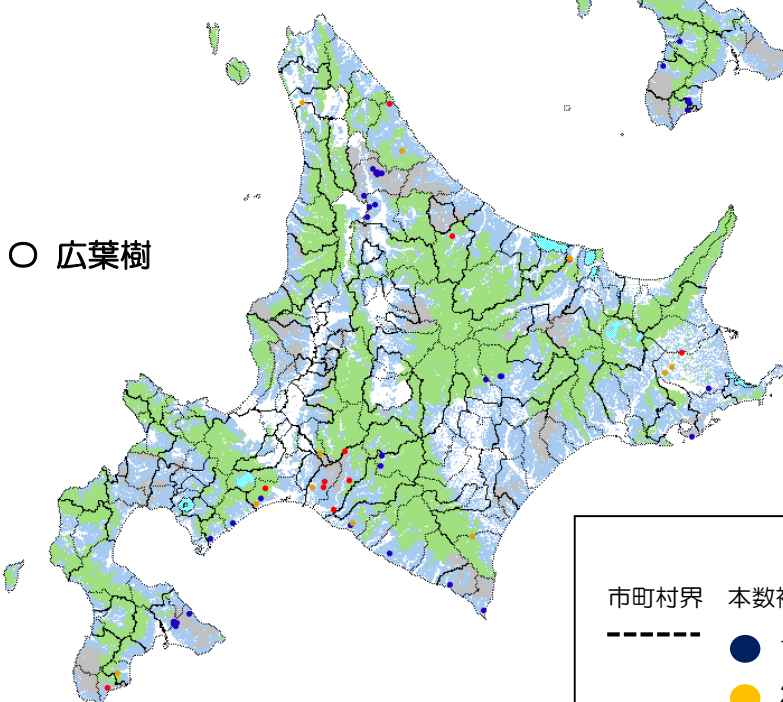
○ カラマツ類



○ 常緑針葉樹（トドマツ、アカエゾマツ等）



○ 広葉樹



凡例

- | | | | | |
|-------|---------------|------|------|-------|
| 市町村界 | 本数被害率 | 国有林 | 道有林 | 一般民有林 |
| ----- | ● 1~19 (微害) | ■ 緑色 | ■ 灰色 | ■ 水色 |
| | ● 20~49 (中害) | | | |
| | ● 50~100 (激害) | | | |